

【前ページ左下から続く】

○商業施設整備等の利便性向上に向けて

商業施設の充実が望まれています。その立地誘導は、周辺環境を見つつ、地元商店街との連携や役割分担、周辺市町の動向を踏まえながら戦略的な検討・対応が必要です。一方、日常生活に対応した商業・サービス業の機能充実を街なかでの休憩・交流空間の創出や地域密着の集配・宅配機能等の検討・充実も必要です。

○地域主体と協働の時間軸を持ったまちづくり

地域をもう一度見直し、コンパクトな市街地・集落空間の中で、身近な近隣関係を背景に地域に相応しい「地域主体」のまちづくりを進める必要があります。

また、「マネジメント」の視

点を持つてまちづくり・地域づくりを推進していくため、時間軸を持った「選択と集中」の政策立案と実践が必要となります。

◆「新プログラム」の展開44の重点事業を優先的に

「新プログラム」は、以上のとおり整理された課題を町、地域の実態に寄り添い、協力・協働によるまちづくりを念頭に置いた上で、各種施策を効果的、かつ確実に展開します。本町の持続可能性をにらみながら人々が住み続けるまちづくりを展開していくためには、行政と町民が各種施策の方向性と重要性を共有していなければなりません。そのため、「新プログラム」では、4年間のまちづくりを見据えて、次の三つの考え方に立ち、課題に向けた取り組みを行います。

①これまでの5つのプロジェクト



答申書を渡す古館総合計画審議会会長（写真左）

トの取り組みを継続して展開する。

②本町を取り巻く状況や町民からの期待・要望等を踏まえ、新たに取り組むべき事業を位置づけ、推進する。

③以上の新たなまちづくり戦略の取組みの中で、優先的に取り組む事業を「重点事業」として事業展開を図っていく。

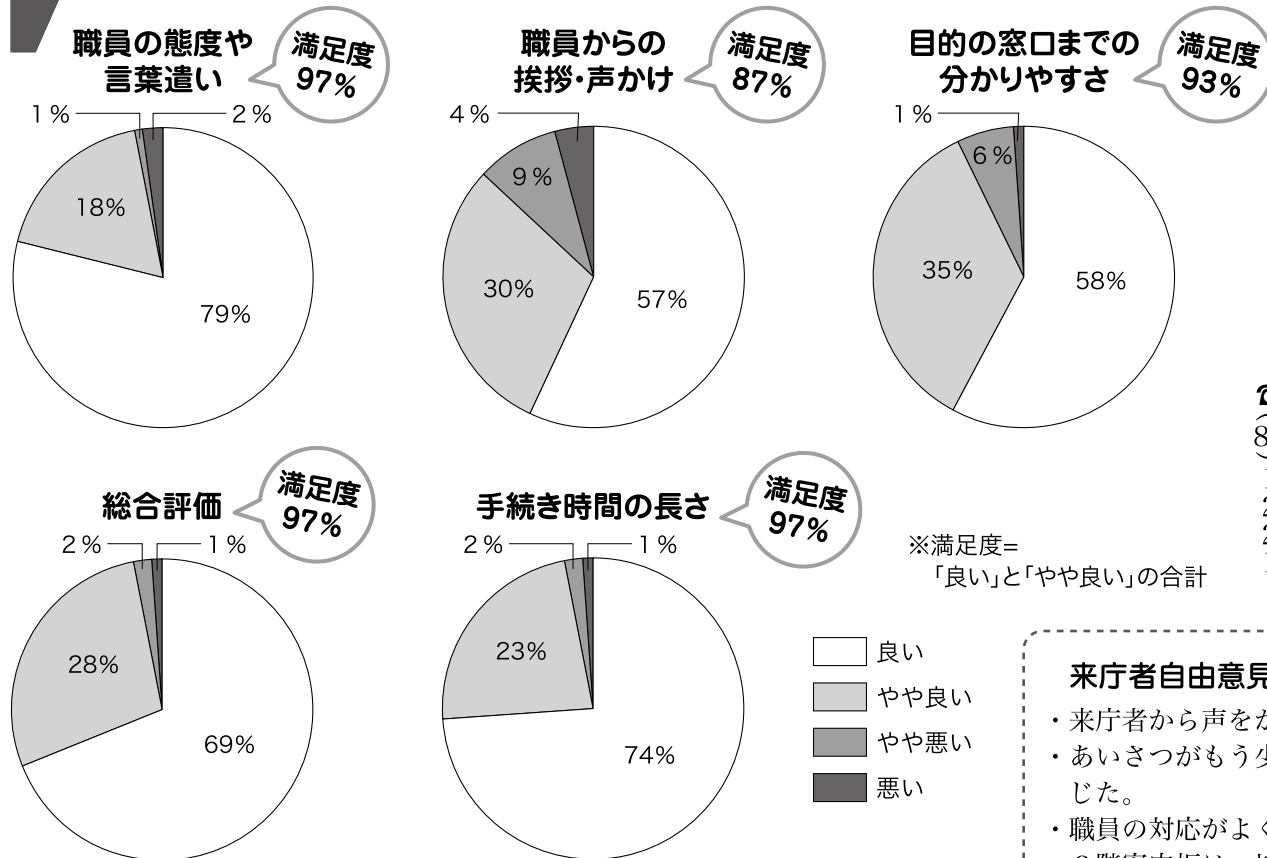
なお、5つのプロジェクトと44の重点事業は前ページ左表のとおりとなります。

◆総合計画審議会からの答申書

「新プログラム」については、3回にわたって松田町総合計画審議会において審議を重ね、この3月に答申書を受理しました。この中には、町が計画を重点的、効果的かつ着実に推進していく中で、特に上記の点に留意されるよう要望されたので、紹介します。

※今回紹介しました「新プログラム」の詳細は、町ホームページに掲載しますので、ご覧ください

来庁者アンケートへご協力いただき、ありがとうございました!!



町では第4次行政改革に基づき、平成23年度から26年度にかけて来庁者アンケートを行い、その結果に基づいた改善策に取り組んでまいりました。昨年度は、計画の最後の年として今年度の成果を調査するため、平成27年1月23日から2月20日までの4週間、役場、町民文化センター、寄出張所の来庁者にご協力をいただき、アンケートを実施しました。

【問い合わせ】総務課庶務係 ☎(83)1221

来庁者自由意見

- ・来庁者から声をかけないと、対応してもらえない。
- ・あいさつがもう少しあってもいいのではないかと感じた。
- ・職員の対応がよく、明るい案内もよい。
- ・2階案内板は、地図（フロア図）等があった方がよりわかりやすいと思う。
- ・来庁しても担当者がいない。後日連絡といわれてもなかなか連絡がとりづらいなどは改善してほしいです。
- ・別の町から引っ越して来ましたが、職員のみなさんが、とても親切で、とても来やすいです。前の町では、役場に行くのがとても嫌でしたが(笑) (いつも態度が横柄で)頑張ってください。

調査結果

※回収枚数 306枚  
総合評価は満足度97%という高い評価を頂いておりますが、「職員からの挨拶・声かけ」は9割を下回っており、まだまだ改善すべき点が多い事が窺えます。